

# 平成20年度横浜町管理橋梁点検結果

## 1. 点検実施橋梁

平成20年度に実施した橋梁点検7橋の、橋種別等の集計を図-1に示す

橋長は7橋すべて30m以下であり比較的短い橋梁である。

橋種はPC橋が3橋、鋼橋が4橋である。

架設後経過年数は20年以下の比較的新しいものが2橋、残り5橋においても50年以下であり極度に経過年数の経った橋梁は見受けられない。

橋梁別橋長一覧

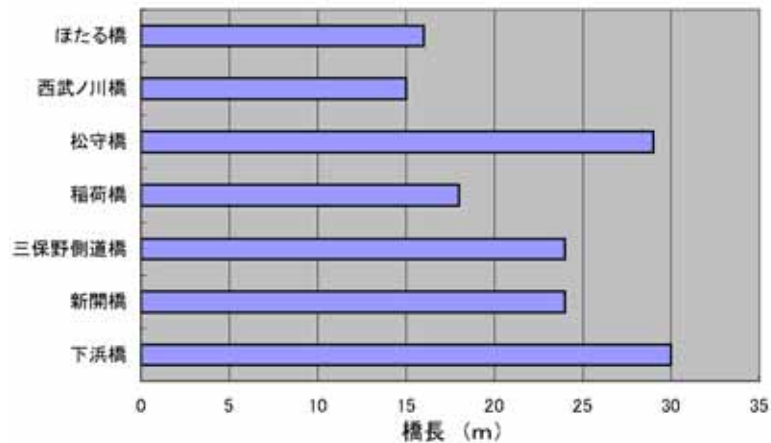


図-1 平成20年度点検橋梁の内訳

## 2. 損傷状況

平成20年度に実施した橋梁点検7橋の損傷については以下の傾向がみられる

鋼部材の劣化の進行が主立ってみられる。

コンクリート橋において、鉄筋の腐食によるコンクリートの剥落が一部みられる。

高欄・防護柵及び排水管の劣化及び欠落がみられる

### (1) 鋼橋の劣化状況

点検の結果、主桁、横桁、支承など鋼材の劣化の進行が主立ってみられる。

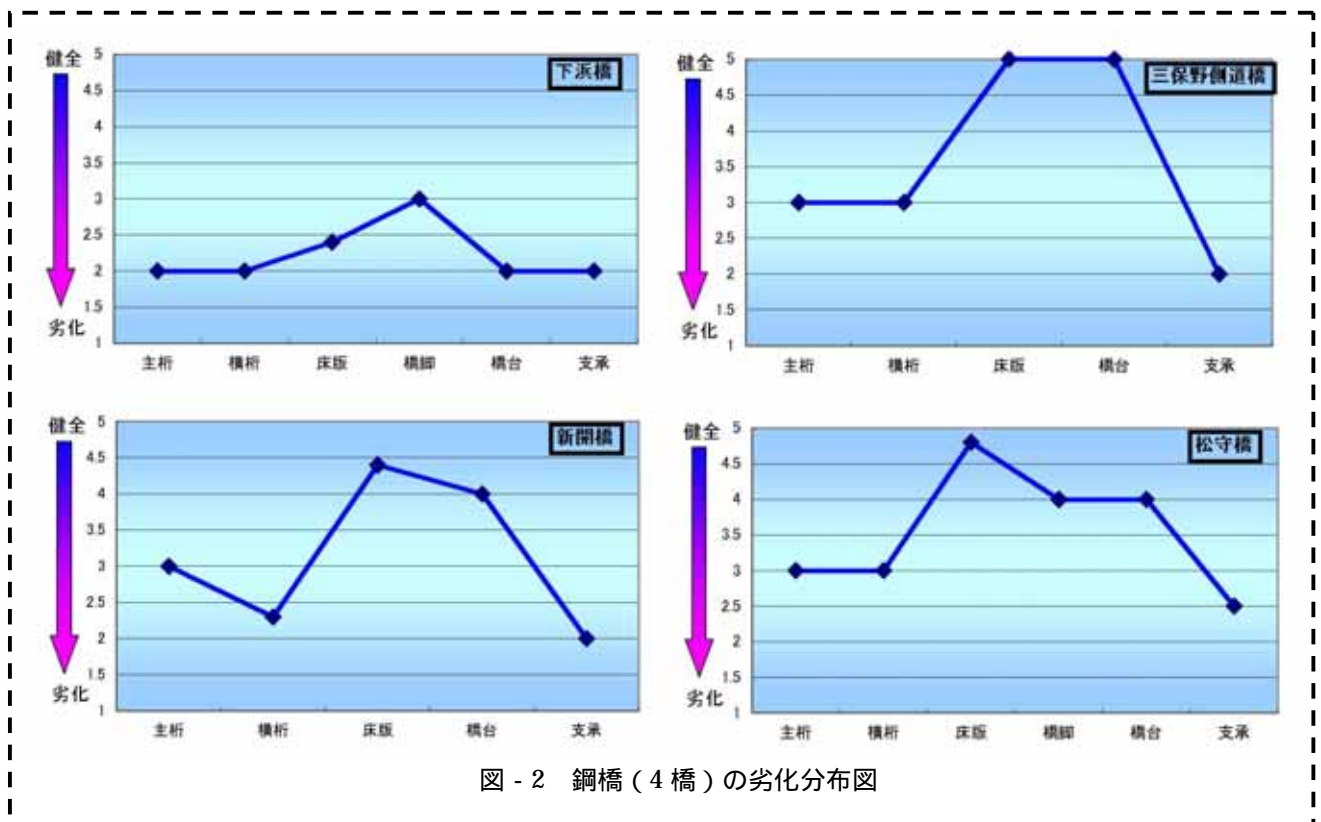


図 - 2 鋼橋 (4 橋) の劣化分布図

(2) コンクリート橋の劣化状況

点検の結果、一部鉄筋の腐食によるコンクリートの剥落がみられる。

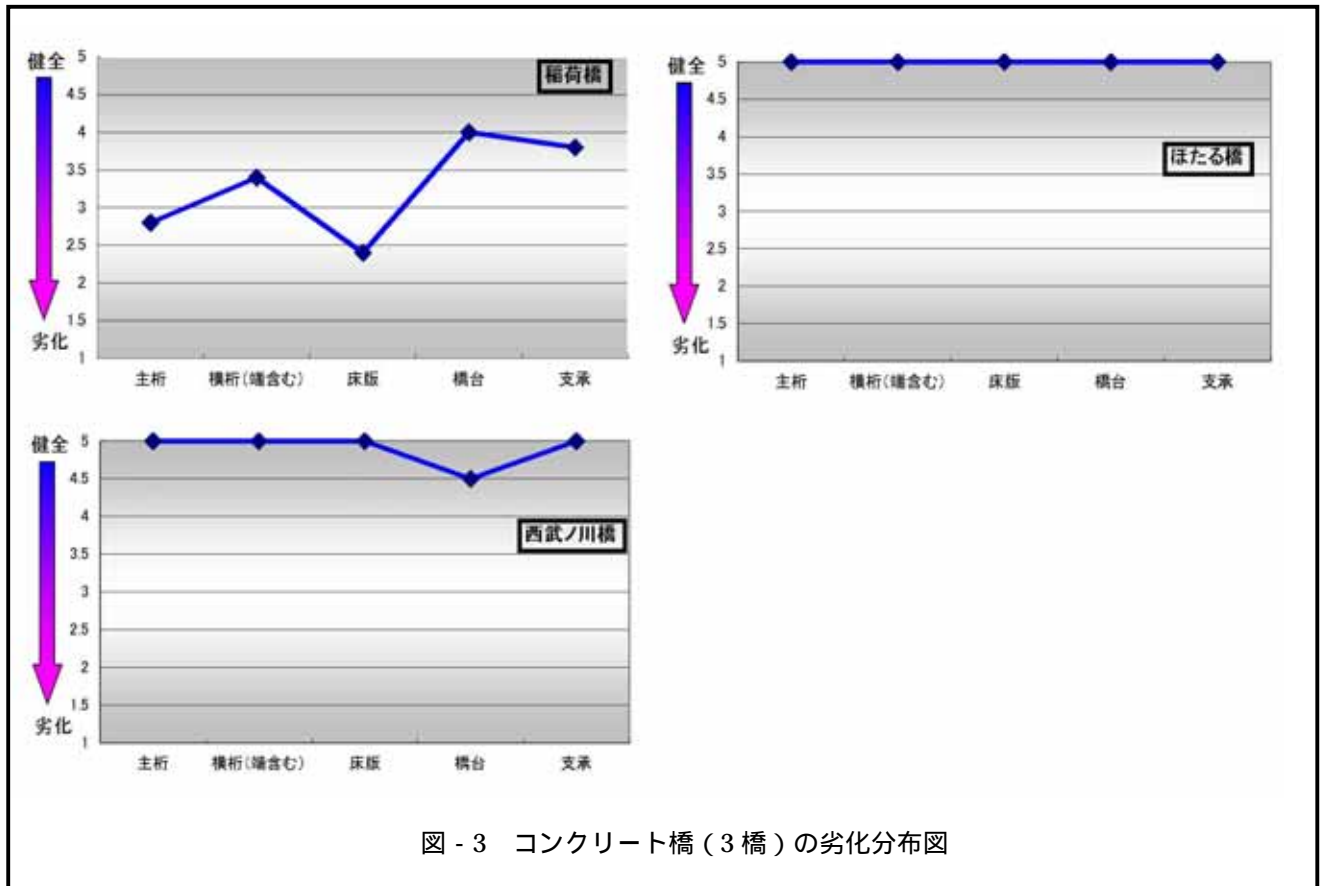


図 - 3 コンクリート橋 (3 橋) の劣化分布図



写真-1 鋼橋の劣化状況



写真-2 コンクリート橋の劣化状況

(3) その他部材の劣化状況

点検の結果、主な損傷として排水管の欠落や防護柵の腐食が主にみられる。

	防護柵	地覆	排水柵	排水管
下浜橋	2.0	4.0	5.0	2.0
新開橋	4.0	4.0	5.0	2.0
三保野側道橋	5.0	5.0	5.0	5.0
稻荷橋	4.0	3.0	5.0	1.3
松守橋	3.0	4.0	5.0	3.0
西武ノ川橋	5.0	5.0	4.0	5.0
ほたる橋	5.0	5.0	5.0	5.0

表-1 その他部材における健全度一覧



写真-3 排水管の損傷



写真-4 ガードレールの劣化



写真-5 地覆（水切り部）の損傷



写真-5 床版の損傷